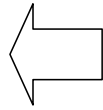


行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	教育用コンテンツ活用・奨励事業		事業開始年度	平成20年度		作成責任者
担当部局庁	生涯学習政策局		担当課室	参事官(学習情報政策担当)付		参事官 齋藤 晴加
会計区分	一般会計		上位政策	情報通信技術を活用した教育・学習の振興		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計 画、通知等	「IT新改革戦略」(平成18年1月IT戦略本部)		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	インターネットを有効的・総合的に活用し、教育の質の向上に資する優れた実践事例について顕彰を行うとともに、教育上価値が高く、学校教育又は社会教育に利用されることが適当と認められる教育用コンテンツを選定し、その普及・促進を図る。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<p>(1)優れたIT活用教育実践の奨励(インターネット活用教育実践コンクール) 教育に関連するさまざまな活動において、①インターネットを活用した実践、②将来インターネットで活用できる実践として発展・寄与する実践、③教育の情報化に寄与する実践のいずれかに該当する実践を募集し、優れた実践事例について顕彰する。</p> <p>(2)教育用コンテンツ審査(教育映像等審査) 映画その他の映像作品等について、教育上価値が高く、学校教育又は社会教育に広く利用されることが適当と認められるものを選定し、あわせて教育に利用される映像作品等の質的向上に寄与するため、審査を行う。</p>					
実施状況	<p>(1)第10回インターネット活用教育実践コンクールを実施。 平成21年10月1日～31日の間において募集を行い、95件の応募があった。(学校教育部門72件、社会教育部門23件) これらの応募作品については、有識者による第1次審査会(書面審査)、第2次審査会(実践事例紹介映像による審査)を経て10件選出し、各賞を決定した。</p> <p>(2)教育用コンテンツ審査(教育映像等審査) 教材製作会社等から申請のあった教育映像作品等について、有識者からなる教育映像等審査会において審査を実施し、文部科学省選定作品の決定を行った。 年間文部科学省選定作品数:109件(文部科学省特別選定10件、文部科学省選定99件)</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	44	44	30	27
	執行額	-	39	37		
	執行率	-	88.6%	84.1%		
	総事業費(執行ベース)	-	39	37		
自己点検	支出先・ 使途の把握 水準・ 状況	本事業の実施に当たっては、文部科学省が直接に業者等に対し物品の購入などを行うものについては、本事業の担当課のみならず、担当課が属する局の筆頭課の確認等を経て、複数の部局で確認・執行している。また、委託調査研究を行うものについては、外部有識者で構成する事業選定委員会の審査や、各委託先から提出される実績報告書や経理関係書類等により、支出先・使途を把握し、使用状況や事業目的との整合性について確認を行うなど、支出先や使途については十分に把握できている。				
	見直しの 余地	予算に応じて適切な執行が成されており、本事業の成果等の検証を行いつつ、政策推進上の諸課題への対応の優先度等を考慮しながら適切な予算設計を図り、さらなる施策の推進等に努める必要がある。				
予算 監 ム 視 の ・ 所 効 見 率 化	<p>1. 事業評価の観点 :この事業は、インターネットを有効的・総合的に活用し、教育の質の向上に資する優れた実践事例について顕彰を行うとともに、教育上価値が高く、学校教育又は社会教育に利用されることが適当と認められる教育用コンテンツを選定し、その普及・促進を図ることを目的とした事業であり、事業の成果や予算執行(不用)及び契約の競争性・公平性・透明性の確保の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:優れた実践事例の顕彰の実施及び教育用コンテンツの普及・促進の成果が不明確であり、また、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すべきである。また、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性・公平性・透明性を確保すべきである。</p>					
補 記						

【一般競争入札、物品調達】

B. (株)映像
センター
<5百万円>



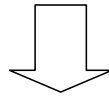
A. 文部科学省
<37百万円>

本省執行
諸謝金 10百万円
職員旅費 0.1百万円
委員等旅費 3百万円
庁費 11百万円
を含む

文部科学省試写室
における映像・音響
システムの更新。

○ インターネット活用教育実践コンクールに関する業務
インターネット活用教育実践コンクールの事務局運営が実
施可能な民間団体に対し、事業を委託。

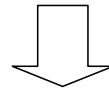
○ 教育用コンテンツ審査(教育映像等審査)に関する業務
教育映像審査教育映像作品等について、有識者からなる
教育映像等審査会において審査を実施し、選定作品を決定。



【一般競争入札(総合評価)委託】

C. 日本視聴覚教育協会
<13百万円>

- インターネット活用教育実践コンクールに関する業務
 - ・ 実践事例の募集。かつ、募集及びその結果に関する広報。
 - ・ 実行委員会、審査委員会等の設置及び会議運営。
 - ・ 表彰式の開催。
 - ・ 本コンクールの結果等を広く周知するためのWebサイトの運営。



【再委託】

D. (株)オルタスジャパン
<5百万円>

インターネット活用教育実践コンクールの
2次審査用映像制作

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。使途
 と費目の双方で
 実情が分かるよ
 うに記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	インターネット活用教育実践コンクール	13			
庁費	試写室機材更新費等	11			
諸謝金	教育映像等審査会委員謝金等	10			
委員等旅費	教育映像等審査会委員旅費等	3			
職員旅費	視聴覚教育総合全国大会参加等	0			
計		37	計		0
B.(株)映像センター			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備品	映像・音響システム	5			
計		5	計		0
C.(財)日本視聴覚教育協会			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
再委託費	二次審査用映像制作((株)オルタスジャパン)	5			
役務費	HP作成及びホスティング、受賞作品DVD作成等	2			
印刷製本費	審査会等会議資料印刷、報告書印刷 等	2			
賃金	表彰式運営要員 等	1			
借料及び損料	表彰式会場借料 等	1			
通信運搬費	募集要項発送 等	1			
その他	審査委員会委員謝金 等	1			
一般管理費		1			
計		13	計		0
D.(株)オルタスジャパン			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
編集費	審査用映像編集費	2			
人件費	映像製作者人権費	2			
機材費	ミキシングオーディオ等	1			
交通費	現地取材交通費	1			
その他	消耗品 等	0			
計		5	計		0